



今城小学校人形劇クラブ「りすっ子」は「大きなかぶ」に挑戦します



喜之助フェスに向け

地元アマチュア劇団奮闘記

子どもたちに夢とロマンを与える
人形劇の祭典「喜之助フェスティバル」。
今年も8月19(土)・20日(日)の2日間、
邑久町公民館を主会場に開催されます。
今年で18回目を迎えるフェスに、
プロ10劇団、地元アマチュア7劇団が参加します。
本番も近づき、練習に熱が入るアマチュア劇団の皆さん。
今回、フェス本番に向け奮闘中の地元人形劇団を訪ね、
練習ぶりや人形劇の見どころを聞きました。

アマチュア劇団プログラム

8月19日(土)

上演時間	劇団名
10:00~10:25	りすっ子
10:45~11:10	ちょう・かえる一座
11:30~11:50	星の子きらり
11:50~12:10	どっこいはなまる
12:30~12:55	どんぐり
13:15~13:35	ピエロ
14:00~14:20	つきみ草
14:40~15:05	りすっ子
15:25~15:50	どんぐり
16:10~16:30	つきみ草

8月20日(日)

上演時間	劇団名
10:00~10:20	星の子きらり
10:40~11:05	ちょう・かえる一座
11:05~11:25	どっこいはなまる
11:45~12:05	ピエロ
12:45~13:05	つきみ草
13:25~13:45	星の子きらり
14:05~14:30	ちょう・かえる一座
14:50~15:10	つきみ草
15:10~15:30	どっこいはなまる

会場 邑久郷土資料館 第1劇場

人形の生きた動きが見もの

かぐや姫

糸あやつり人形劇団 つきみ草



糸あやつり人形をこよなく慕う「つきみ草」の皆さん

糸あやつり人形劇団「つきみ草」が誕生して、今年で10年。今まで、地元有名人の紹介劇に取り組んでいた「つきみ草」が、この節目の年に「かぐや姫」に挑戦します。

かぐや姫の時代背景から、人形作りには「苦労。桐の木を彫り、人形の古風な衣装作りを行いました。一人で2体作ったメンバーもいます。人形の着物の裾まで糸が付いて

いて、その動きが見ものです。

喜之助さんの人間性を慕い、糸あやつり人形を愛する「つきみ草」の皆さんは、けいこの合間でも人形劇の話で盛り上がりま

ります。

「人形劇文化の火が消えないように、地元劇団が糸あやつりを継承し、後継者を育てていきたい」と皆さんのさらなる挑戦が続きます。

全員で力を合わせて2本上演

おばけのトックビと朝鮮人参ともだちほしいなおかみくん

邑久小学校人形劇クラブどんぐり

「どんぐり」は、平成11年に誕生した邑久小学校の人形劇クラブです。現在は、6年生6人、5年生4人、4年生4人の14人で頑張っています。

「どんぐり」は、「おばけのトックビと朝鮮人参」と「ともだちほしいなおかみくん」の2本を上演します。

「おばけのトックビと朝鮮人参」は、いたずらが大好きなおばけのトックビが、病氣のお父さんのために、朝鮮人参を遠くに取りに行く少年の優しい気持ちに、心打たれるお話。



鈴木友子さんの指導をみんなで聞きます



懸命に練習するクラブの児童たち

もう1本の「ともだちほしいなおかみくん」は、こわそうなおかみくんも本当は友達が欲しくて、優しく接していたら、みんなの今までの誤解がとけるお話です。

昨年のクラブ員たちが、作ってくれた置き土産の人形で、児童たちは練習に励んでいます。

クラブ代表の前島翼君(11歳・邑久町尾張)は、「人形の手や足の動きを見てほしい。当日は、14人みんなで、力を合わせて頑張ります」と意気込みを語ってくれました。